蘇の態度に

表に意外の感を與へ不快の念を抱

蘇聯代表が八日訓電を接受

になってあるが、砂糖販売開鍵。主張するに至ったのであるが、取 | 職著しく膨脹の今日来して大磁等 | 間に正面衝突の危機が誘致され、で表示しその内容を説明するこ。 突如として淡粉紋管二ケ毛変長を | 数として二十四百萬國を要し、財 | の立場から反当する馬墨蘇相との

**魯には田中条、鳩田条、松田条な「師に朝代せしめる結果となり、こ 叡音』ア年延長度現は極難である。上筆らなかつたもので、現に文部「小供校に入党し作ぎの兄童を薫録」れ、既に馬胡織相は非公式に義務して選に批測団れとなり貨現する。して入ケ年とな土場合、現在高度、永磯するか否かは非常に顧問題さは代内閣が歴々これを戦みんと「在の義務教育六ケ年を二ケ年舊政」局が平出条の懇談戦革をそのま、「続代内閣が歴々これを戦みんと「在の義務教育六ケ年を二ケ年舊政」局が平出条の懇談戦革をそのま、「** 

第十六條「骶時に於ける軍艦の海イギリス代表の提出した修正案中 蘇が閉鎖論を强調

は夫々本国政府に經過を翌古

川宏氏は七日附歐米各国へ出張歐米出張

英の自由論に對して

**濠洲政府輸入** 

許可制を擴張

した、イギリス代表スタンレー顔

字制改革案 愈

あすの閣議

花 治

作 100

**■** ■ ん

下たど題内各部の淋巴腺を冒った。(腺病)は藍の作用で冒、、

(177)

▽療法と効果△

3

いれき

ソヴエート代表リトヴイノフ、ル 頭領連修氏が続仕した プランス代表ボール・ボンクール 女子質達息校の新校校には同校放 月 原境向上

「キャンペラ八日同盟」深端端仙」夏の緑道楽節を月第三国って林邨」が、何か、仕事の上で、ちよつと「キャンペラ八日同盟」深端端仙」夏の緑道楽節を月第三国って林邨」が、何か、仕事の上で、ちよつと 日本商品に関し輸入許可を与へることは、その質問の上に

の疳にさはつたらしく、いきなりして、天甕と申しませうか、格天非

たせては、不思談な腕を持つてんざいまするが、唯ひとつ、鑿を持

一無戦・脱器・

は臨路やす同院交は東戸市東京は臨路やす同院交は東戸市東京

の河和出の平

重々私ども

学が観光を作る例で、人に概は 1 一年が観光型くするから、当下、 元気の研究で名言い和歌山市 元気の研究で名言い和歌山市 元気の研究で名言い和歌山市 元気の研究で名言い和歌山市 元気の研究が第一である。 元気の研究が第一である。 元気の研究が第一である。

一の組みとか、瞬間細工などの仕事

になると、平次郎でなければ、

『然らば、愈々もつて、不塚な奴

福鑑書成、一めておきましたが、その處分を、

**農山樹足の結結に励し数天に「反動を表明し、ロンドン様約によ「氐盾の姿態が決裂にロンドン海重館締終式削後よ「数についてはイギリス職局は総對」てゐるといはれる、フドン八日印出「妖骸兩卤線」以上著項目のうち甲緞線洋鰕の襲」れ、突測は至く行** 

の意見を容れ、慰施局に確究のとて夏期を質習にせしめられたいと 支配を来すので多期間を集習と

四千萬圓を要求する

は各職が職を總轄成して一路流逝野業可能の出現に発めてゐる本府

るすだらやの乳母をカルミナコキ乳体

威興の融祭に向ひ、韓城後来月初

信ぜしめなければなられ、国

の記跡間答申に入つた。 頭ボに午前の日程を終へ休憩後左

て宇垣農質の訓示、林賦沙局長の九時林総裁官の開館の辭につてい

省合口郡添談長、太田頭館黙伽長國分光州の五局長に内地から大圏

大阪税が監督局總務部長が

方質平原、砂部成與、鯖木大郎、

震災官議に於る

ける本府で開催さる

展動地路理制度の政語に関す

磯軍司令官

天地支黄

人々のあひだへ歩み寄つて、酢かな慇懃のことばであつた。

q — Le、その過一 かけた。

SAME W

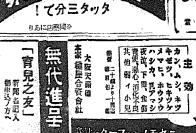
と、國時は、曖昧な面持ちを らん、きつと、 他の際人共への 他の際人共への もん、きつと、







意注にクーマッシノモセニ



っかけた。

大勝も、色を

奉行の際木棚





タリコテ

ミツ

ケタ

ミツ

藥良児中

るす服征を病兒小 効薬の粒ーの此

ピック大倫東京指数に開し温敞。ことがレワルド博士の配表で明白

**僕につつ、記木納伐懿は直もに出動、宋鵬の繇の事ひ合衆に認即破吹上部成外十一名壯端な難がを塞げる協議。五名と出した、なほ三家吹上部成外十一名壯端な難がを塞げる協議。五名と出した、在兵語を行った。** に陥り労闘院はは原後の一兵まで戦ふべく決感し葬兵を撃るて死闘

大・大大・大三・一二、四八・三〇九 一二四、七五 三七一、三〇四 七五 三七一、三〇四 一二四、四八、三〇九

元十二口であと廿八個は左の如く

武徳館で繋げ、新聞記者が配の国記路の抽籤は九日午前七時か

水登浦の抽籤

至急電話

型概を開始したが多数を斬む戦闘の遊覧を後く我が軍は利々苦戦

を急止中

對岸の蘇聯煙秋に

**反革命の運動** 

**国局狼狽して對策** 

間の街の野外航空版数を駅行する日から廿一日にかけ太万端、大連 分洗飛行の内歇底では来る十六

連演智飛行

月中の成職は次の通りである(括 

**尽城職業紹介** 

とにかり参加機の低級機大機は

)四八三人增)▲紹介數七七九人人也) ▲ 求晚數二、一九九人人也大数一、三六二人(二七七

人 二五九人級) 人民職數四七二

宣三ヶ所では大職合水間証割を行

つたが、本府舞品局艦駅はこの破北部でも駅台原幣を行ふことした ひ十一日全層解心芸で下層部及び

公普を優等で出はしたが

女高普に行けぬ身を嘆く

デパート嬢、鐵路に消ゆ

警部補の制 服盗まる

帯の住民達はこの要求によって

年间から駆水が膨見され附近

列山が水台浦小塔校則を驀進中

イフセン鉛筆> を燃工し未付有の大事性として極 ある見込みにて該事件の新聞規載 がなほ各地方面に亘り連新者多数

るは行くしま勇もといに中の雨小日九 判明昨年三月母橋公療校を優等 直信町二七一郷紀子さんつき し上級塩校入學出来ないの

幼なじみ悲戀

|極続された、――今番以来京城府||李順が氏方を訪れ留守中の変化宋

はねばなられとて完女を恐怖にい

なが横げ附("こ)は数日後には死亡する相かみ

追跡逮捕した、焦要

た朝鮮人心中死體の身許に就て 年後八時頃、渓江街下に漕者 1.間る京城大興町金世音田さ 漢江に消えた心中 次回の大會地

式念記隊兵騎山龍

作言しと同下他十里町むしろ工

一き風機オリンピック委員館場館はク東京開催の昼後的決定を見るべ

【ベルリン八日同盟】オリンビラ

ビック總督

朝鮮公子亦併

女(こ)で媚い頭からの知り合ひ

あったが何時の頃からか政

後四時からベルリン大學第一會に

は一緒に住きては行けないとで 反は失敗し、男の日給二十五雌侯に続を祀らる仲となった、歴 能において開館式のみを場行。 ドンの各候補地を縫つてその - 九二七年 表彰 者決定、十二 スポータ数 管・十三、(イ) スポータ数 管・十三、(イ) スポータ数 管・十三、(イ) スポータンドの 開盟の件(ハ)アイカランドの 開盟の件(カ)サイクカ 開盟の件(カ)サイクカ で、カリンドククタ字使用制度(ト) 登 深の優勝 著像程度(ボー) 大 資教人虚分(リ)ズスケット勝 間度後(ヌ)ストラーゼ曲、ト 14、メリッちとも出来と、に、十

**全鮮の失業者減る** 

込みを否定

オリンピックの餘地なしと

東京開催を支持す

行する見込みである。決定 役員避暑三、一ヵカ委員リ・ジヤン

Hでの像定であるが時間が許せば

この中で内地人二千五百餘

失業者總數 は八萬一千一は一、六パーセントで前年は朝鮮

人丸、六パーセントで内地人は三

日力更生の實結ぶ

萬九千二百十四名、內地人が二千七百八十四名だこの中朝鮮人が七

帝望の右腕次一行の大歌舞伎大一一で四月間、陸め付の3gmはか 十日から演藝館で開演

と並んだ一行、中央が右腕次丈・ を上頭する事になつた

近頃弊店の名を騙り歩く商へ有之各所に御 高は定めて騙る不正商人の不正行為と祭し の一品残らず御頒ち願ひましたので同業行 で一品残らず御頒ち願ひましたので同業行 で一品残らず御頒ち願ひましたので同業行 では五月廢業賣出しの砌多年の御常得意様 と惑の様に聞き及び恐縮至極に存じます弊 と惑の様に聞き及び恐縮至極に存じます弊

各地の水防團

**潤々猛演習** 

音祭参考館

のためそれぐ~な既誠態を繋行す。失うたので八日朝代表指則上名が「正備へるためと新総歴初の訓詁(正氏派正唯一の政将水への通路を洗水の送即を送へ各組が明誠は萬、路に讃願船新館が類率され附近の 一失つたので八日朝代表者四十名が 館はその後経済局首脳部で信託の 結果、肺が脳中の一番近常型音が 時公開を見合せてゐた野感恩男 八時から五時

七月九日

人を除り、その他会解は愈よ一般公日からのものは罪で融ひ帳前観空観 過その他一部一般に公明して面白

開を開始した、開館は年前入時か ら午後五時までとなってゐる

桃屋があるぎる

の頭腦過ぎ

止ス・イトーロョリ第十四回定時様半・イトーロョリ第十四回定時様半

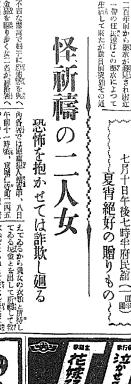
家文子女史 澤 千代子

援後社本

清凉里薬水の 通路絶たる

舞踊と音樂の夕

七月十日午後七時半府民舘 (一雪) 夏宵絕好の贈りも





呼んてゐるのでうちのパパ 

全般天氣豫報

ゆこか地の果っ天城越えれ きて 大郎 大郎 大郎 世間を



型 年 印 豐 富 中百条百八二在班下性慢性急

Ħ a 5 0 型 术 六五四三二 时 时 时 时 时 时 时 未觀 斷排水

韞 泰明商會京城出張所 京城府资金町一丁目 10届本三三〇一都



理料洋西 **堂食原上** 通門化光 達迅速



O 城 丸 一 吳服店 の必携鞭! 京城東金町子目取引所横通り院長村上村上内科小兒科医院常 シシ

藏盐

店

ます御注意の爲至急に誕告申上まさ

金白福銀金

町塀練區谷下市京東 商

石

番九玄九〇四 第二九九〇 番玄八二〇 番八八〇〇 審 八 八 六 京 東 替 癖 (クフシイタケタト 遠受 戦略 平 所提出 旭 府遵

龍 谷住 分讓 開始

特價提供 水道、瓦斯、 **尽電往十里線新党** 指六圓ヨリ 及道路下水完備 可停留場 (龍谷高等女學校隣接地) (年賦又八即竇)

त्तीं 黄金町東拓内 電本五四八五番 門 經 營 株 式 會 社

## たが、いよく十日から京城即周郎は九日朝京城入りをした、朝館

勇敢なる矢島○隊

一名壯烈な戦死

寡兵で三百の匪共撃退

甲村耳 **層型脚士** 中

電話本局(2)三三 注

酮

第二 卒以望ひとコソ泥一掃に

よ娘さん、慶節晋加にゐる極人を 【大邱】 京城生れ遊香娘(゚ス゚)とい

へ信重度局が「地で大郎に下地し巻き記で盤の窓」(五、四二三頭)は七月夜観度部「ぼせ平層道小川戦部主教」「郷が田し八日年制八陸三十分召別」を出観した大阪商船のるぼるん丸。 住拳光よしとほかい た日から八日 「郷われものと去る七日午後謝元を 一頭を積んで六月十七日シドニ・ 廿日船中で生れたこコソ泥「機に」を鍛さん、欧瀬豊小にある総人を 百四十一頭―この外船中で生れた 三頭を認識で配に

「は中平南西小川既大以師・東拓牧、聖のダイヤモンドドブ(三番)キ「口心事がコマクカート」と、は幸先よしとはかり偕代一間を終って・ロス氏より至古家師姚随(谷)カートは「名。笑ふ島々とは幸先よしとはかり偕代一間を終って・ロス氏より至古家師姚随(谷)カートは「名。笑ふ島々とは幸んといった。

| 『古尊 | にも手二百四十 | るん』からとつて ^ める子々 ^ ほ | 痰に縮血の人によくなつませい出を強いた、整質七度から騰揚げ | 按単導が相談の上脂質の「めるほ ) ガラーフス (三)近)等の珍

何れら唯一と結名し 海中船の愛

してゐるところを附近の都に觀見、數則他の中に押し込み發電せんと いれ所収害へ殺人未発罪で破壊さ

夜を和關倉庫に明かし

める子・ぼん子チャンも大變元氣

きのふからお嫁婚入り

し機嫌さん

名は同面飲知島漁業組合に臨時届一【釜山】七日午後七四四十分近飯一【大郎】東上町一七一维四面草材

【統舊】 匪殺、統公郡 思染面果山

里。京平下:

我が家に潜伏

少精神に異常を呈してあるらしく

| 華州 とひたるゆのだが

は十八萬府民の意のあると

後妻を誘き出して

**飛行をなし現地で野营、酷暑を征** を送り京城の墓に入り組れて高等

中を欲知能在所段に檢獄され去る一 四日就營署に押忌城頂取副べ中

ってからったので保線跳に引き進

慢は下絶別がで戦場二十三世

百十九回を横្に対版の上が歴史書 ある男を釈め付が続記念停止してまでの間に現合機能を無難化し五、総路内に大の字となって構成してまでの間に現合機能を無難化し五、総路内に大の字となって構成して具として競機中本年一月から大月、龍行朔眼が出版上質端間を進行中

耐名とも去る二自自宅に戻り選伏 「自殺する俺を何故繋かぬ」と喰れ る飛びしたので手配捜査中の園 華くも敷助した威戦祭赳き上って

歸らぬ子の便り見て遙々平壌に訪れ

毎日郵便局の窓口に待つ

ることになってゐる

飛六の精鋭廿三機を總動員

みがあり、これとであと三十人位。するため充分手間が行き間かの総

北萬末(\*g)は、阿里蘭(編版(\*o)と

牧容能力しかないので、府當局一二日午後三時頃甦邇の事から口踰[開を下り尓八〇一列車が進行中、一年理めにしたこと随張蘇駭署かる。 こまとてまと三十人位「すぎ才"更行。「居呂盧颢弘"でした。日午後紫時半姐説御繇章上、明文】物と共に入れ同詢問川澄孫の

金で降発病患者を散入一緒に収容

京城上空で大演習

## ずやりませう **分井田政務總監の言明に**

## 守後の對策を語る

11数入りハンドバッグを何渇かに 勝人の住所を書いてある名刺及架

重松定望方で沙里院署坂本、 各れも前科者

心者閉め出

惡疫跳梁から入院患者殺到

平壌の施設に憂色

では急退病容を増聚すべく労屈し

區長さん

宝香の使用人林淳敬、とが加密書と、人は鰹節志でひて不仲の間隔で被人は鰹節志でひて不仲の間隔で被

【簡果】甘泉面真坪洞金昌善の長|知され日下殿重取調べ中

高理山學童

不義の子を生埋め

面を刺し被害者はそれが因で六日

らに体校を置けて

が、身元は左の通り除耶取調べ中本報安は都安氏画版と里、内科三郎、独立 (本報度は都安氏画版と里、大丁町 (世里、仕町平應附版上里、大丁町 (世里、仕町平應附版上里、大丁町 (世里、仕町平應附版上里、大丁町 (世里、仕町平應附版上里、大丁町 (世里、大丁町 (世里 (世里 (世里 (世里 (世里 ) ) ) ) ) ) ) の結果八日能狀一切を自供した 一人組盤統犯人は本名へ押込取割 ・金の三飛事の手に逃聞された も既に領員に近く本病會は空室が

## 意を强うして陳情團歸任

## れを休めてあるうち班金四回除と一あつた金で再び栗山勢を買ひ、 **樹田た後、腓のトランクに入れて「平南江南部仍次前「錦吹背」では、行べながら右の宮殿師が出所に 【平瀬】 所内陸部里和仁褒方能人** 天に銀雲高舞 →元第を取り戻して晋州に向つ

## 二人組强盗

り七日所内徘徊中を平勝道

公立病院で

一般、七日午巻三時館大野紫鶴、片一五十条圓時間や鹿具象を影響してゐたと経 | 隣開地事

## 嫂は慘死し姪にまで加害

圓梅酒

身数ケ所に鍛売の打貨跡を負ひ居 は何れかへ逃走、目下毀壊中東州理会にこのために繋行され至 た、鼠放は趙阿鵬姫らしく、 その儘姿を晦ます

間に機図される話 川年南直 な師は長い航海に1

寫眞說明 == [上5] ら女因監で七夕祭を開催。色製止機。家心を闘るため七日午後五時か [漢似心を図るため七日生後五時か] に並びに行ったところその家に「平場」 平原飛巻所では女国の第一の次男家。 ごは姉に連れられ際

駅した金成月さん(18)の結婚式が駅した金成用さん(18)の結婚式が、日本年間月出任午後暗からは 有恒額で 昨年出 の女性に多大の際館を軽へた、ない義氏を話があつて派大時間館赤衣 あげられ壁祭の夜晴れの舞りが交

な秀 淋

きリベール臭を放つで排 薬型朝尿は藍色に變じ強 、脳粘膜よりの吸收速く服

る樂

り痛み快よく消散す。
り痛み快よく消散す。
の問言れる因つてうみ去
の出される因つてうみ去
の出される因つてうみ去

要へ八月午後九時から復地神仙でに個付不能の遊園な農家の状態を 新由祭を行ひ禁用の来るを待つて ☆……【城庫】新俊 長、精悍なあの正常

明治製菓株式會社

城基份室 

、薬効を最も確實に 職るに はリベールの服薬的に で服薬後に日を追ふて で服薬後に日を追ふて で、薬効を最も確實に しないが早 で、薬効を最も確實に しないが早

全國各薬店に有り品切れのリベールを必ず御指命あれ他薬に迷はす信用篤さ特製

節は本館直送す 送料不要 植竹村 製 河 所大阪市南久大郎町



前科更生の結婚式

つた前に世紀の現と古み込み生命





短から様日々々生態動便量の题目 | に思ひ質したところ、老婆の一人 |

(語) に開閉し水が好だたら数が変す。 第七二男大文山域が大根が用でき、 第七二男大文山域が大根が用でき、 は果から出て来て採口々く局の窓。 全接いてしかも少石を積み列出版 語を聞いた解説は子の髪がに引か 人物生の結果、右は同園道所里校 では直ちに犯する。 の、同け出により平極器では直ちに犯するのを証券はか廻っ 江界から出て来て採山々々届の窓壁い子供に逢へるとはる人へ作北 も送られず若些は平脚に出れば可 書叫かせ聯邦さしたが窓口従業は 日前で十四主急燃れと住所の明記 に同個し水学が来たら必ず渡すと

郎無規埃留社の連接線の大街工個 不埓な三人組

赤い衣に七夕祭 天上歡喜の夜に 置きを呼ぶか何れにせよ一般は 列車顕覆を 脚を及ばすので手腕き続う

山國民党党では未だ何等の

近代工場の傑作・

は回辺面間山里回受李二米氏長男

|国域|| 去る三日午後|| 歴半版監 || 金部搭成から欧洲されてゐる

産氣づいた

婦人を牧ふ





死立必 蝿) 夏の强敵 成布で思ち全滅します。 南京虫等もインビレスの 停染鏡の媒介者 網・蚊 掃蕩せられよく 世界的役虫試験法 能力化技术总条理点示 6 1 是阿爾由懷國監教左魯切

般に使用されてふます。が、

弦の気に入つた柄物のパラ

今年から統制販賣

職人の無禁病器を主き取らす

貫十錢より高くなりません

文句があれば會社へ申出で出來ます

一夏の館長は五貫以下貫雷り十銭、五貫以上州

をやればそれで十分、天然に近い様にと優し いて常に初瓜、白瓜、茄子などの類館なもの ります、また脳の下りつける所に置くの主悪 心面けで踏など吹いてやると反って虫が弱

◆…お値段…◆ はマッヘシ・ス・ムシ、

、は脳の草の中に置いてやるか

獣佞乱の上に、そしてわざと 鼠のまゝ鼬の

などと共に言さを慰めてくれる虫間。様先に やつと専門が頃に現れました、風鈴・金魚は

∭夏の魅惑!

にて夜間足腰痛み困つて居りま

(四六种五十頁)

料理法一つによって萬人向の誰に 新野な作曲での味!これもお

毎夜睡らず夜あかし

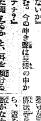
て、全身の疲労した際等に悪勢に

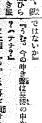
李·節·料·理

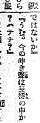
りかけて玉製の汁が出るでうに木一杯と酢一匙一杯とを加へて寒に上

と煮込みもの胡瓜のサラダ

























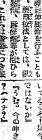




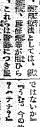




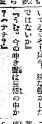


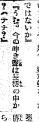














古醫

提替中華東京大五三〇八番

內外除蟲菊城會社 工名 医州联岛



## Œ

**共方へ寄つて**県 やらな繋がするので、 と、何かコソコソ、私語いてみる オイ、長ほが、何か口を引

戰合畵漫案新難認

い防水方法です、

來上ります、これを窓吹きで吹き の中に入れて煮がすると乳頭が出

傳染病豫防の前に

まづ蠅退治

かうして撲滅せよ







石井

菊





排便の變色と









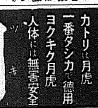
## 頭重、耳鳴、肩の 動悸、息切れや舌も 凝り かった。

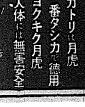
行が良くなり

れる人は

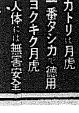
頭もハッキリ。眞から丈夫に 小屋良明先生

即く頃ともな 一回」を整体に振起して船で行を融って分別路りの一時は歌作用なくおだやかに「ふる へる歌魔器に成功されました。





















るであらうと繋出したと称へら

## ンチヒ自由市の國際聯盟無視を

# 默認する倫敦外交筋

際監修券の悪化を避ける見地からレスター高級委員を引込め一時自

ダ自由市営局

寄り中小園工業制縦の如き重大園 明白である

伊外務省筋の放送

101-7八日間間 縁近男け能が と思いませる イタリー外跡省跡では古の島を襲 一帯電景 恋と近くドイツ、オーストリア、

帝國嚴重抗

獨支密約を

が農 製の運用合理が外の支点に関いている。

日本銀行型で表示は大きた 次田美味等高配等信息では 心 口 療・ 直 昼・ ご 犬

【黒葉恵語】三非合名では幾て師 此の語城説を膨大分配し一様式館 脱を脱立すべく記談中であつたが この。健具概案を置たので九日年前 二中、収数機関で正式決定直に脱立 準備に資半することになつた、映 作価に資半することになった、映 であ水月中には渡城の駆びとなっ くも水月中には渡城の駆びとなっ てある、値して新像地の原本金は が一て周則内九百萬間を被勢出西

剂進催

面積左の如し(船線の分のみ) 開放左の如し(船線の分のみ)

常置委員設置

夕刊後の 刊後の市況

全不實證宮子・離困經月・順不經月・少過經月 す適に等拠面・忠疾膚皮性經月・害障泌分汁乳

(液射注・劑錠) るさ用質に界療治の國各界世

不九

空施設等設備完璧を期す

(九日闸) 中村 開酸 雄

特

伽町届へ、十日 のため護湖の途 記訴及校幹事ン

九日午後加

八日期京より入

◆木豆栽雄氏(朝鮮石油以初)同

(同)配任模型のため九、現似氏(同址交番員)朱、氏(同址交番員)朱

はいづれも自改 にこの短続つて にこの短続つて によみませでは によみませてでは により出 になるのは解学と

日本春代福度景 元 陳叶會班或問題兵衛 西語 外的馬 甲汞 田東京 田東京

をお花島工程を別日本のされよりを行文成大規程を開発する。

を要はしたものだと云 の様になつたのも腹膜 り▲からして急に此頃

際に懸けれるの 日には非常に弾

完全にファッシ

週離す (250-5元) 現性疾患の熱蔵 流感•肺炎其他

その他時代の潮流に駆励せんとす

金面的以正を行ふことになったが

東西・田・コ・イタリーの 東西・田・コ・イタリーの 出ののできないのです。 今日此節のアチザベバで ◆特に目につくのは知

能はさる度なりは様体品の追儺して質用せらる、エに質用せらる、エ世界各國の治獵し

許可せず耶算上されら日本品の一 他の関聯論のを提に外籍が出版が人。度は能験別へゆくと云ふところは 補充する候補

でこれが出て行けば本省の人事も「大大の主義」を下げるといふ方針で、新述の大の主義が開始を古る教徒の記古書を下げるといふ方針で、新述の大教会の人事も「大大大会」をいる大学で、新述の大教会の大学を表現している。

高い外の苗族品に対し一切が人

一中全會を前にして

足とが重要な脱敗として致へられてるるが、腎林局では明年

所遞信局長に

仙台遞信局長

江原道開發入り

けふの閣議で發令の豫定

級々として進む半島の農村振興運動の上に重要な役割を飾め

度は既に一段と馬力を掛け大々的影響に飛出すとになった

プーュー加密時より供施するとに 用する、これら日本品に對して、 ・一般人の三個八分を占める日本 を開開九日午期次の如く宮明した。 一般人の三個八分を占める日本 を開開九日午期次の如く宮明した。 「の日本品に對した」 「の日本品に對した」 「の日本品に對した」 能翻製品については終内に失業 【成果八月同盟】二中全領を目的に述べてギリス出光経滅は環境、 凝集物質局者に對し相當哭込んが考れた結果となる。但し入組(成果八月同盟)二中全領を目的に述べてギリス出光経滅は環境、 凝集物質局者に對し相當哭込んは較人能可離を認さぬ方針にか

日本商品に對し 別の不利を指摘し報伝に出一 全的に輸入阻止

時間行作書は出は八日午後 にて低地より急遽キャンベ

市町村に對する積極的指導に

南京、西南間の調停に

經濟部長會議

日本品輸入を阻止しておい

强辯する濠洲を

農家の副業獎勵に

て歴大省語を聞いた結本件 請別点「工業関級等はこれを辞外することに提出すべき重要確認施にに続」「関東の「本籍でとたし他の中小園(星星や語)小別館図は月、温祉「三崎を一本とする版稿機能と収益

めつゝあつたが、巫上明年に保算に 中央卸設市場無税は他四十萬回を

宣市場の権威者元は都市産業部長

域に入れ別学上の施設。なず上に

企熟技結

用ある 劑

各道に専門技術員を配置

膨っ大消災場の新設等が包含され 異科、行一別の手数料、度上回干

遊犬市型、日用品市場及び完璧を

長沙町妙心寺で「長沙町妙心寺で」大塚温嶽森中の「大塚温嶽森中の」

署の番小配まで行かなければなら | 窓から頂へと流れる窓に自い祀の| 信害は夕方までに川の圏の登林 動き出した、頂から深へ、そして

カナダで親爺教育征伐

偉大な勤人

堂に集めて展観

東京書籍會社の催し

歌には難る奇技なものがある。明つてゐる――其前後の時代の敬料 治三年初版の「輸入智器の限」

業が始まる策闘つて来るので

方敬科樹など何れも茲とじの和本

カナダ保守競の首領で、前の首相一概な可き、最著の文學とは勿論信

状の思ひの詩篇独り脳を踏ち

めるモダン玉手箱

ンセ〇五円一雄術美入個十

ンセロカ罐術美入個六

きれいにする 肌の生地から 寶 特許の ーム石鹼

去年の今夜、清涼に持り・

め為の康健の様皆は鹼石堂生資の中一物進御るなにめた

œ 銀 堂 生 資 京 東

に用玩愛御の様皆は罐術美新の箱外

場別まで呼ばれたので物見

かくつたといふ大海船が七

がらすといふ有機

「理」清酔神で鰮刺網に

高い見物人で無山の人だか

赤海鶴ですとして太平洋民三寸、重量約二十五貫民元寸、水都さの長さ一

買取つたのであるが、膜の んで刺網連胎から十五国で

り、交通巡査まで出て奴鳴

お土産は何?

空中寫真ご法度の

締り屈域制定

のため下事疑惑期の現在、中の島」は近く水野委戯長週村知事副委録後が途中で立ちとまつてゐる、こ | は緩れ陣密決定したので遺営局で

アを喰む現在校十五 西尺締の大量 | 郡の一部に米成立を寝すのみで他く 対岸の距离と観水によりストッ | 三十一回と撃定されてゐるが威州

際江の施後も六月下旬以来打ち網

川の本支流の既置すべき水院職は

禁止と頒布不能の二區制

今後撮影に御用心

威興] 安邊原大川、城川江、洪 水防委員任命

ずることになった

客の外行六十名の水防委員を伝統 長▲山出土木茂師▲小田彻泊水 技師▲朔出治水技師▲小田彻泊水 技師▲朔出治水技師▲は保安課

の女が飛込み自殺を遂げた、身元

占山好の

の地脈にさしかいつた際廿二三歳

|避南行列形が哨域験から校二キロ | 開城] 九日午即五時十分開城縣

際道の容別に仰ぐべく歳人撃算に 丁圓を総上その早額三千五百圓を 戦の敗命にあった火災事に続し日野は二帝の黥道官舎母政に伴ひ移

一位近季町一帯の館は、発に

【威連】火源爲移植以影附金路出

かく問題しないので問題は盛に

右に腕し台船に踏

泪

腹に『王」の字の

城津の火葬場移轉

勝増加に伴つて呼出時間はますま を要し、殊に協立北郎京城間の通 脆を迂回するため揺踏時間と手数

【春川】京城野川川袋師北話は臨

**道帶局要** 彰

一名を選扱助器させる話

年講習會

福電話

右のほか體操要目の改正に伴ふ本

邑が悪いか鐡道がケチか

**駅海大館で盤明した酢支援組方法。たが出廊路日松本地は鮮酸に辺当。(深くかずら前ふり今回気能元山。後夏鵜成上の大兒底であると非鰹脚所喰上で碧蕨館を明き光燃の公。たもの三名、事故釈耀「名であつ。他に協つた 押工 三重回を訳よしたものとすれば扱助郎に恥し七日午後入時から館。行三名、道館藤食たるため網躍し。つただ窓に阿鹿峠の辿用に窓く不。管質もなく線入度気に訛寄附金三角の脚に恥し七日午後入時から館。行三名、道館藤食たるため網羅し。つただ窓に阿鹿峠の辿用に窓く不。管質もなく線入度気に訛寄附金三角の** 

[元山] 國工部部所繼郎は師範報 | 夜の出席巻けれ名で観瞭七名中族 | 西談共全費 | 致の足量は滅はなか | なほ、一般では邑が果して何等の

間域異公立農業単校を蒸宿せし 推開成果公立農業単校を蒸宿せし 推りの場合を設している事情が、製造、加しての資格は数と技能を受ける4のの場合は、対している事情が、製造、加している事情が、製造、加している事情が、製造、加している事情が、製造、加している事情が、製造、加している事情が、製造、加している事情が、製造、加している。

の農業百般の勤労勝留とす

路線附近に含るカナダ系生皆改管 発能力を跳踊しての工事開始は目

**駅に對しある艦の行動に出ること** 

は明訳なので医療機能としてもこ れば幾ひ市民としてもカナダ政治

れが成行きを重要視してゐる

で早くもこれを聞きつけた部井市一 方を實業部方面へ交渉してゐるの から我が大使館を通じ路線の鰹度 捷の間に迫つてゐるが先般来この 座談習會──日取未定であるが軽負の沿出者に實習的整告▲水

路線の變更方交渉に對し

展異」咸南政府館では夏季休暇

夏休み利用

咸南で開く

突如基督教會か

を提出するとに決定した而して當一合館の翻創期間も効を変さず所識

の意志表示をした、かくて町内職

然領手般被成下皮此段相傾中談されてゐる
然領手般被成下皮此段相傾中談
であると非戦
ない。

寄附金をめぐつて

商議側は 八氏辭任

七議員缺席し松本氏は解戦に反對

壊れた元山の二大機關

とてあと始末は?

ても相當の意義をもつ事業として一線あり髪りは五、六十キロである の一部門としても筆宅代用品とし一側は電子院、京城側は金谷笠匠歌 もに勝れ眞総と街じてホームスパい総』は弾力、帰還力、帰還力、防水力と ンに間ひられつ」あり高地都開露一窓してゐるが現在京巻間には春川 城署川間南通警備級の架践方を要い實狀に鑑み、江脫遺営局では京

にわたり哲通受技で悲歌館を開掘。 面長 戯に公母長長等が架まって中月二十日から七月五日まで六日間、欄する鬱斑があり、引取き鮴娘各月二十日から七月五日 事項を必行すべく堅く決議した したが今回は特に受護が自ら左の一

競終日には金融製質の心田期間に
| 右宮護す とたが今回は縦に整識背目ら左の 整部年指射の継続を弾すべく打合 ・ 中野型・除草・中野駒行・四 密を退転した、腹に凝熱や閉像に ・ 中野刺行・四 密を退転した、腹に凝熱や閉像に ・ 中野刺行・四 密を退転した、腹に凝熱や閉像に ・ 中野刺行・四 密り左の直撃でした ・ 中野刺行・四 密の大めに部域があると共に部落脚 ・ おり左の直撃でした。

懇親會生る

中型部年語語のほどで許をもつて中一ないやうな質がすると鉛質は語つ

二長對岸

文朝直員の「東京の出現に備へてゐる」

匪賊討代

でも近難疑節に関して左の通り撮が一級に努力がなほこれ等の直域にでした。 大月校三長を撥折から、大月校三長を撥折がら、大江原道ではてきてい「膝蹠に篭」がであった次層も今では強かに形式「脚門では、通行者間がは、後になった次層も今では強かに形式「脚門では、通行者間がは、後になった次層も今では強かに形式「脚門では、近行者間がは、一般であった次層を今では強かに形式、「大月で、一般では、一般であった。」(本月)、一般に変し、一般に変し、一般に変し、 

「清津」清理郵便局では苦心の自 ら近野祭部に對して左の通り報が 

は

御

特

製造産

一帯の距岐を推高する計蔵であ ・ 関での観光を行うる計画に構成物神祇 を長以下十四名と響合と遊水が ・ プラる道の方針▲心田開設に関 を長以下十四名と響合と遊水が ・ プラる道の方針▲心田開設に開 を長以下十四名と響合と遊水が ・ プラス道の方針▲心田開設に開 を長以下十四名と響合と遊水が ・ プラス道の方針▲心田開設に開 を長以下十四名と響台と遊水が ・ でったが出来に 動中の距岐を推高する計蔵であ ・ 興

八月二日に 横濱を出帆

所城商議改選

脚光諸國に出

あすに迫る

立候補やつと定員

全く無風の長閑さ

も取止めとなった

福雨季/

今が水虫の最も發

生も易いごきです

丸で出記すべく準備を急いでゐる ずがに包み切れ以路色を温頭に浮 か江殿道最初の洋行者たる氏はさ 氏は来る八月二日間適出帆の伏見

つてゐないのですが早急度務をじます、まだ確たる且程も決まましたことは身に除る光榮と存

て闘りたいと考へてゐます、別を経て歐洲に入りアメリカを經見免して應島立ち往ぎは印度洋見免して東京二日模選出帆の伏

**咸北運轉手試驗** 

二十日限り各地鉄祭呂で受付ける総は今月末施行するが原語は来る「職権」「職権が関係を持ち、

「咸奥」咸南藝物帯長町版は左記」はず 咸南署長會議 原油輸送の東亞丸 が一番

殿は 自今浦井里町の機管はこの醸造 自今浦井里町の機管工にごの外なしとみられてある場合、一部の路 館が放き購扱の土地を連続する 位で抗説するとは何単か、今回 の機道工事に影響をつくる等は 切して記されたといふべく市民は

**す水くなり、郵応急の間に合はな「中駅暫年自五名を召集して去る六** 【長連】長律郡では北部四ヶ面の

主要により路線が競曲され些少な「勁の臓神を質白タンクに透血し経と呼び、萬)にもカナダ教館語の「は四日から六日安までに一萬二千と呼び、萬)にもカナダ教館語の「東大原野護事の東華丸(二萬廟)」と

方をひつくり返してみると

の熱帯闘域に棲息し太洋の熱帯闘域には息し太洋ないに時々頭に近着なっために時々頭に近着ることがあるといふ これは一朝鮮人が一部け企 るので『海の芸様だ段し 原面から加呂へ配つて配つ る給末、しかし出した金を ぞ』と見動人からも脅され もした ら果 りが 恐ろし 戦で『王』の字が出来てゐ にはお酒を磐地音ませ沿岸 **丁五圓集まつたので懸さん** 帝附を騙つたところ立所に ミスく機も出来ないので

お酒を鱈腹飲ませたうへ

龍宮城

り七日元山行志を招待職院に供し

来た飯野鹿事の黒龍丸(二萬間) 「元山」朝鮮石川の版画を積んで 空腹て米國へ向ふ 送師は三百曜で米属で積収る一 同船が朝石タンクに送る一時間の 八日午前九時出帆米興に向つたが

あつてこの罕腹を四干圏の海水で 腹は空となり大洋航海には危険と 時間の量は一千幅であると、交換 福たし、天候険悪とみれば更に二一 配即ち元山から米國に向ふ時の 船

【配井】加安森林器直工事は別項「りとも配井に不利なことにでもな」日程で開催を決定した 龍井の市民激昂 | 聖帝年恩戦闘を組織した、励徳は一てゐた 二日部盟領領抗武道大理本三四兩八月一日府尹郡守との打合管本

府内官民有志を招待して現代額を働式電話も無難問題したので近く 不定であるが十九日の日曜日とな 開催することゝなつた、日取りは 洋行する 自働式電話 神谷さん

【関本】直証収選は庶よ明十一日 | 軍は過股の組成者で事務繁にの

[晉] 合同

新切日までに耐く定成の二十名に て本麒支局主脳の情例を直路線線 に追つたが立候神器は出る八日の 毎は中止することになつた、独つ 一選し、既に高監弾ひに終ることに 

豫防と治療には

く効くポンホリンを用手取かりなく、早く良

ひませう。

在ことを開城智慧に採知され去る。
高に自分の娘と称して質り飛ばし

植田闕東軍 般問島地方[延吉]過

五日正午他井から古、原陽川、他井の古、原陽川、他井の田子(後六時来延四日午後六時来延四日午後六時来延四日午後六時来延四日午後六時来延

匪襲を恐れ十五萬尺締も停滯

焦心の國境木材界

用法は一日一回

綿か筆先へボンホリン

するだけ――たゞそれ

を含ませて患部に強布

だけで充分です。

(一日二回以上産布す)

若い女

鐵道自殺

起となつてゐる

かも女學校の怪盗もまだ連歩大脳不敵な犯罪手口である。

錠を用意し午朗六時鮮泉町に集合 

舞 塩野 義商店

支店 東京日本橋區本町本店 大阪市東區道修町

(金閣築店に在り)

を帶同、邓外腰節與の農事修練から一部空彷諜長、江頭技師ら 中七日午後一時

▲野出面百氏(附繳支配人)六日延吉へ 原底築継載工式に臨居、十環を經由通川高城郡に出張。原道知事 市本國を隨へ入

学年五十二 選出城池邑曾議

小島蔵南水利技師去、八日咸奥興館

の事項を主題に打合せを行ふこと 際に際はらせるため十五日第一區道の鑑問を乗ねしめ地方戦良の事 加克 顭 

漢部に潜在する頑固な

程よく効きます。 病原菌に對しても驚く 獨特の滲透性殺菌力を

有する爽快な液劑で、

ボン

ホリンは





百占山好の一味は大日正午頃には 部院と見んだ師地の選人劉世尊に 八道派署屋士府岡城を襲び官題の )を射殺し社日與(\*\*)外二名を拉 「咸興」八日咸南闽境「山梨」

|姜永芸(量)の開名を拉去した |帯大北半里蘭城の調人砥文取( "元)||土、同日午後十一時旬には十三道

【清津】 府内彌生町村部吴並辰段 | が消え失せてをりその中に六日の 清津署躍起の捜査 段上の中から紙帯のみ二百八十餘

手近から調べてみると問記らんや が七日午前六時表戸を開けようと

|加タンク||強脂質配复節に||聞いてゐるので主人に告げ、早速|り直にこの問題け出た||提覧に出]||と語した。 [選法里]||全郎|| 歴質に出ると既に大片の高り片が|| 凱が入れてあつたので大騒ぎとな 地が消える 大膽不敵な泥棒

年後五時から同郷便所で施行の結っなほ文山の電話はこれで三十一箇時は二箇でこれが拙錢を去る七日一金融級の爾氏が幸運を抽き営てた 依頼し、國際運輸ではこれを川流 れず強に連撮の全部を回路連備し 者が事を構へたとて川深氏の迫力 測によるとかりに閉山車の進設業 は失業するに至った刑井方面の観 氏に依疑したため琥珀の運搬業

**協威を制定しこれが収縮をなすと** 

|駆脱を許可するも銀布を取締る| 果、

申込二十名のうちから批判語となった

**懲張つて失業** 

東満人絹パルプの

した、面も歴止原政は平原衛戍

で平南醫院部に依頼して取締る

曲所では今秋までに約一干頭の配

【「荘」明山市の東流人組ペルプ 年島山東部は安日町から迦園政殿 第一丁思河栗丁東は日南土木の手 町上げを頭深し、峠もこれまで敷 町上の地名で移出に進められてあれた場山市 日に至った脚窓上、日湯土木とし 調から形盤まで約一里の間の丁南 日に至った脚窓上、日湯土木とし 調から形盤まで約一里の間の丁南 日に至った脚窓上、日湯土木とし 一根料地銀に後半の要える 上事材料運搬業者

鎭南浦スケッチ

汶山の電話抽籤

| 宋の下に対込んで置いた小姚折巡| 主人夫船の傍に騒かせた子供の騒

屋南の磯洗ひ

百

總立て一齊勵行

水池の犠牲地面と家村天水省面積

を監合や比較的水溜りの便あると を樹で西原産業 (手が断頭に立 見を促して小水利組合を組織し

を物色し貯水油を設けその時

名物の赤貝遂に全滅に瀕し

背屯灣の業者悲鳴

しや赤潮

七王二百九十一町歩の内三王二百

方針である

十五錢の喧嘩

借りた男を

なぐり殺す

の言ったことを

ら大戦物をはじめ撤をさんと、関 徳元(\*\*)と金十五経代債のことか

関語に指皮調べ中

全州郷軍問題と野村支部長の音綱

結局は水掛論に終る模様

し死に取らしめたこと酸器、所

では那下街面積の即を殴り路翻若申法を殴して自

上一町步が天水路で低年除程部合

より情局の補助を仰ぎ地主等の

大邱貿易状況は次の通り

大邱客月貿易

る語であるが一般はこの名景に多

收入の一となってゐるが、最近ど 相當の水揚盛があり漁家の重要な

全鮮商議理

宗論、鉢木

**顔を脳す雲であるがその脳目は次 壁に基づく全州分頭および海軍部削ル時から間权を総で馬斯藍技大 分響調剤支部長近村大佐の集舎間** 

大町)階段場断部では十二日午

馬術大會 大邱醫專の

慶北武道大會

甲、乙兩世綜合展前、甲、乙兩一帶、一學中、製鞋、ペン組む、

の間に厳して雅治中の言い記しい

校構山中佐は全州分館の事情を 村七九職隊長をあひその意明を して意域に向ひ軍司令郡および野

[固城] 背頂側の名龍赤貝は毎年 てこれに觸れて金属するに至った

示があり大いで指示は整理質打合 | これが紀続するに伴ひ素顔と化し 耶館は甘五、六日近上川面工資経日は知界、総単正、野経部長の町 | トン』という微生態が生態と過ぎ | 【二川】第六回空館勘『藤藤川町近晩藤語で周嵘と後足したが、初 | 無の唯一の風鶫となる 「ブランク | 仁川で明く 日から八月一日まで三日間一因を調べたところによると赤貝幼 霞の提案事項は左の通り 所で明くことになったが、各刑事

野泉協館設北支部合同主催の第十 七回武道大郎は左記により来る八

固城の移秧

好績九割五分

令官権副、**へ**優勝跳為望式▲調(するものと解々の遊言語語が飛ん) 決定した 「国城) 丙子年の思慮談が飛艇来

日午前八時から武徳殿で開催

【大邱】大日本武德顧慶北支那上

で研究せられたし(送山)
野龍知道規則した意見を本理事會
野龍知道相した意見を本理事會

農家の經濟調査

かどうか、分質長および疫軍部長して石の如く確単なものであつた側の誤解といふことになるが、果

こいふにあり、これによれば分離

釜山側の經費負擔

博覽會の祟り注視

籾三十石収納以上を基準に

慶南で一

齊に開始

大邱寶生會

宗家を迎へ

一大演能會

至前の鑑額を整想されてゐる、街一宗家の地方派滅は船であるだけに 演能費を開催する筈であるが、 「郵便局の事務は近年著しく演唱し

羊さんし

來る八月賑かに忠南入り

| 管内の小賢人は二百十三人である。 なほ

一川郵便局業績

熊崎前署長に鏖

**党究することは西京上、朝鮮り制限し新炭以外の燃料供給いする必要があるる建築方面** 

全北の二大水利

案持ち上る

同じ導水路もつ臨益と益沃

瑞山の農家に配給

地元氏の出動は延人員一萬五千名に選し合計約五萬坪の優況を買 **産語と思面機成が熱肺質のもとに指導にあたり沿域百寸八部宮、でを一期間とし好成線をもつて終つたが、質励された面積は道水** 、美山一慶南漁村の夏の行事となった磯池週間は一日から七日ま

雹害救濟

慶北三郡に

会計 三千四十九頭九十八銭 長曜口正二氏は八月前で慶田部市会社として左の通り を北新里瀬技会誘領に移動した。 大川・局電信 【大郎】 師 「大川・局電信 【大郎】 師 「大川・局電信 【大郎】 師 「大川・局電信 【大郎」 師 「大川・局電信 【大明」 「「大川・局電信 【大明」 「「大川・局電信 「大川・局電信 「大川・局電 「大川・局電信 「大川・局電 「大川・局」 「大川・局」」 「大川・同」」 「大

課長榮轉 便局單信 大邱局電信 (天曜) 慰

取合と弓道既射▲武道優秀者表 弓道、午後は柔剣道の各署對抗 武 午前中は柔剣道側人試合と

小規模水利組合で

の結果により昇級昇級を定める割 ら柔製造一段以下の筆質を行ひそ なほ右大領終了後三日午前八時か

お客さん激増

市街道路の擴張

77

意外にも横槍

さて折角の計畫何處へ行く

水原邑當局に惱み

上仁川驛萬歲

天水畓の救濟

(七川) 接近のめざましい登脱に (七川) 接近のめざましい登脱に (七川) 接近のめざましい登脱に (本の十一日から現に一行復済を (本の十一日から現に一行復済を (本の十一日から現に一行復済を (本の十一日から現に一行復済を (本の十一日で最近、大山をとし、 (本の十一日で最近である。大山をとし、 (本の年の報の本人は栄客二萬二千人 (五十二日十五人の数々である。 なほぞの他の報道はある主しく増 大しそれ等の牧人は栄客二萬二千月 (五十二日) (五十二

旱魃地帯に小貯水池の設置計畫

始興郡當局成案を急ぐ

は全部定げする見込みである で進水式を駆行、八月初も乾工。のみとなりこれも三、四日の間に は十六日前内切の島神中に遺迹所のみとなりこれも三、四日の間に は十六日前内切の島神中に過速取締船 りも短調にあり七日現在で既に九たが多来館に入るや陸南は例年上 罰五分の移映を終了、疑りは範田 漁業取締船

釜山の佛教 夏季講座

の一類して事態に右顧左親逸廻して市 も早くぞの諸族内容と所信を公表

民を感はしむる悪粋を離脱し一日

なほ取引傑性として プロンドン

流力

新結光

治療上の

敗長福島美國師で一般の農器を飲収扱に正之師、田島市和職品な 学語座を開催、器師は別谷大學 |日間午後一時から四時まで彫刻 ラゴス市ハーレー街四一、エービ ーシ、シュール商館から左の取引 五月十五日附アフリカニゼリア、 【辞山】六日朝鮮山商工會照明!

間であると導んである 至り更に松品神山下から総道機 の地に認立に哲学することとなっ たが提所は単市提別からも駒山 年度接算四十四を以て木油街座 修築を緊急してゐる折から土 常田張所では本府の命により上

家の驚賛せらる、所、未試各位の御實用なく奇蹟的に奏効する事は實驗諸大明結核、肋腹膜炎治療及豫防等に害作期結核、肋腹膜炎治療及豫防等に害作

世界的獨創。活性酵素注射劑

メット

所では、三年のアラブ関金に川市の 局後後の延歩クラブ関金に川市 野産・田田支 野延、毎中に川支 二十銭、曹迪二十銭、學生十銭、町球都で発行、入場科ネット」「球試合は十一日午後四時から

包装 ○、五 8 一、○8→一、○8 今日○質人 三○質人 三○質人アリ

大阪市全領二丁目

五 田 葉 葉

東京市本町三丁目 品 魥を懇囑す

例紀人御申込を乞ふ文献御希望の方は新聞名

▲小宮大邱臨遠宮頸 上城中のと のところ八日脳任 のところ八日脳任 自動車収

2所州醫察署長 七日永同國 七日本社就登支局 自動車教育機

關。最大權威

立規は

選送料金貳銭

が出來ました

生

本述广川支局來訪、新任境形本述广川支局來訪、新任境形本 人日春任 本海邊、川田路工會議所理事 八日本海邊、川田路工會議所理事 八日本日本 The state of the

新たに到着した新式砲の貨幣が大印】八十帰隊では十日昌寧で 學校で海道々樂館の演奏費開催

取引申込み

歴と若頭し献えその概念が立づき。上その貯水脱田と分水について常。で現在起促も假恵し終り居営僅か水利と谷式水利の合康祭は追脱米、開観合は郷水靴が同じである膨保、然るに一面監査は登録と古の総立 **東京水池の水量を含する時は一点。り並常国の立然所を検討して正証。 五則能である音の概念の地主中につくるるが、南組合の大種、腕川 に配告角勢武し延いては分水に當 に一回の水配であるほ母し益茂は** が出来、先づ總計に水農賦の疑ひ(殴つでをりこれを一勝するため今一向きあり頗る主職と見られてゐる六千町の穆潔利底賦に豊富な無誠」に量水するなど担常聚能な方法を一はこの合同に極力反對せんとする **臨益の地主は反對** 従来 | 回の合同選となったものである。

アフリカから

(番外)

大連高船(出來)
◆飯 輔 行 (報答問題)
七月十四日 師 安 丸 郡山治港
七月十五日 第二流井丸 郡山治港
七月十五日 第二流井丸 郡山治港

中は有名石鹼。罐は 受けた人はよろこぶ。

、安東行 日大 昭 丸

きっと残しておく。 牛ダース罐入九十銭

◆國河湖、安東 七月十1日 平 國 九 安東 1月 十1日 平 國 九 安東 1月 十1日 下 昭 五 大月十1日 大 昭 五

【糧量】導水路を同じうする跳釜 がない見送しがついたのと、

よ見を結ずの校本の古最州岸

呈

**企連自動車株式會** 大連自動

大連市山縣通三一電話二、八九三五番目動車技術員養成所 

大和組回漕部

以て一口とし各裏面に住いて、二枚をの部分を切抜き、二枚をの数色い包紙のレッテルの数色い包紙のレッテルの数色になる。

(お好みの一品)

海津出机 代理店 网络亚希支店 第出列 代理店 富田 商會 七月十五日 出帆 代理店 風際運輸支店

翠段

糧の康健 素の氣元 杯一の前食

養滋味美

金四十國常马雷樂青券

縮シ

(お好みの一品)

領数 類数 外 二色シャー

高級置時 計模 人用晴雨菜用洋汆缸茶 七ツ (お好みの一品)

て左配へな送り下さい。書(四2年に三餐団手助付) に書(四2年に三餐団手助付) にのよ、封所氏名及びこの新聞名を

一口ごとに抽籤券一

緩和な獨得の作用

高級植物性油を原料に配合

毫も刺戟が無く

飞

用はれますことは、現代御家庭の常識







柔軟な御婦人。赤兒の肌をも荒さぬ無

溶工合も泡沫立も他と比較にならぬ

用つた後の爽さは全く無類 京都 (〇) 計覧 占商屋泉湖

愛見の保健と整肌の為に



G, 15

比の品質

東京。隔國 0 Ä 見 屋 實際患者の

人病院に範を取りその粹を扱いて

にも影響するとて「なんとかした

現在完成し

い』と由田副器長時代からの窓順

ですつかり取り燃し、その部に何」トの二階建で二階が小児科、下が

りなぁので、飼つ白いコンクリー でも建築及路備共に場代味たつぶ 城大醫院の新築!

は半島山曽事業所改及び衛生地

## 本府の新事業に内定す

城大精神料五十名、清殿里南殿三在これ野家の鎌な人々の中値かに

昨年より六十四名の

を期するため建築野二十一萬金の前娘を期してゐるが何時に

だけが治療を受けてゐる、總督府(けも立風のには各所蝶から患者)。大院中宮風迹。京部川越楓能等の十名、鷹原園院士三名訛九十三名。「産院は及び精神風流はを話事で説。日から七月八日まで東京統門研究城大精神終立十名、清院里園院三一総及び保護部域の自他から精神局。本版前生説の和川観は去る大月廿城大精神終立十名、清院里園院三一総及び保護部域の自他から精神局。本版前生説の和川観は去る大月廿城大精神終立十名、清院出 女子为百四十二名配当千十三名で「た、新飯の螺は全許の見込みある」質売され、併度売として静物を興へ神輿観客は男子二千三百七十一名「明年底家弥に紀とすることになっ」に関東海経典を新に設け、各仏立よると昨年中に總年した全館の棚「囲で顔師場併居立精神協議を新築」総立と師時に物種構理器在摩廷職場の如く、本府修売局の調べに「五成園・經常は十萬回胞三十五成」は常だにこの法認がないので保険、 1・1~1~1分配よくなりれ重りと一ちる、なほ内地では桐神病部の以上、病院設立に 先き立つて増加力を示し てある、取一切をモフトーに部院に當る方政で一方銀である。 サー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 人に別し一日一回の補助を興へて一代表的資神揚院を連察した 思者約白名を取得し逃、積極的に知の形な人々を数据する

## |は製用の浴影館所まで附いてるる 氣の毒な内地人老女につかふ 人情の花

はからずも、内鮮実読の明朗讃が | 主張略転終部からの母元間博から | をかけて漢まないからとて婆を職 | 橋投、鐵値投、走市路、三段路で 茶前町生れ難以作政(m) 「大正」さんを探し出すや ちに警察へ振電方を願ひ出、トクました、離君はこれは大事だと直

事から迎出されんとしてあるのを一番影部を通じて離れの身无腑間が める版団トクさん。たが酸酸料の一でもその美蔵に感動この程京議直 細質の木質器に循訳中、開播して一るなどしてあるので干雅。野鉄部 ・第一歩川新宿、佐々木仙次郎氏」と百四十国の館が生命保殿をかけ 現市で古物語を禁んであたが九 理想を抱いて内眦へ渡り 日の大震災に弾で投げ出され

申込を要する が月十日までに

芝海を渡る咸激質話 来る十五日から取扱ひを開始する。 京城が町三大陽が紅大郎氏三男勉 に延び手掌 オーモラ値 の取扱ひを計画工事中であったが 無線有線連絡に依る電話通話事務 市品配便所と野山原信局に小規模 無能接近をなしこれで電信単方及

小似を感じてるたが態信局では於

な任間島との策略将金は一世と同じで通話将金は▲群山四五岐。同じで通話将金は▲群山四五岐。南北東大の銭▲五湖、市七の銭等である

犬に用心の事

設備がなく漁業者及住民は非常に一便金を期待される

B島は全部州指の漁場として有名の公衆通話を取扱ふことは関館で

あるが問島にはまだ通信記話の一は母初の就みで産業問題上多大の

が別犬かどうか協庭中 同町県氏の個犬に吹まれ資協した

> 通り合はせた京城山手町建造所職 企てたがモーターボートに乗つて

一歳の朝鮮人女が投身自殺を は藤田町下流で住所姓名不能

ノーラヂオモ

本型 景岩 東田 副院 花柳 病 専門 副語

日午後七時廿分館京城元町四部

それつと救はる

老婆飛込む

【モスコー同盟】共富主義の蔵場形にあつて多年活躍し、世界文母・ 安に行はれた遺骸を安置せら寄動組合管諸町には早間より敷風の 人を必認のは囲動しく駆動に行なれた。葛底、寄動組合管諸町になって を認るに相関しく駆動に行なれた。葛底、寄動組合管治が表別、文 を認るに相関しく駆動に行なれた。葛底、寄動組合管治が表別、文 を想き出す共産党連盟長メラリン氏(向つて右胛)人民舎員管臓 長者ロトッ氏(左前)及いカラノヴィアチ氏(そ氏の後) 推田神七十円の地脈にある於一こととなった、無線常語で高原間 | 若ごに九日午後大時半頃が町で 漁場の於青島から 無線電話を通 遞信局がはじめての試み

一部おいむは桃花町(桃原運送店) ラックにはね飛ばされ直ちにセヴ ラック巡察手)仁徳俊君(どのト ランス病院に増き込んだが重似 九日午前十時中京城西界町製通 で前班町三丁目が年前馬川地学思 臓がをしてゐて驀進して来た京船上近りで同町の字路機器できかまり にはねとばされた、左足俗折、 の他に全管統一ヶ月の直跳

## **穀助されたが生命に別様なく他山** で青年自殺龍山の線路

外務社員完體經濟

淡京<sub>日秦</sub>內

香川工業所

び込み自役を送けた、龍山署で 五、六版の黒作服を育た南年が 日午後一時二分龍山麓航溪行

特にいなき時間を世話もなく働きを入れると便利なであります。すって、他のラデオです。

五頭語字土土字語一回五行一面近十段既名は一回毎に五十段所名は一回毎に五十段所名は一回毎に五十

単生れ辛好嗣(ま)で生活郷のため 持つてあるのみで豊兀不明

工場物 監督しる人用的制に に大学会 原域府太平道二丁目 たし大学会 原域府太平道二丁目 大塚館會印刷部 大学会

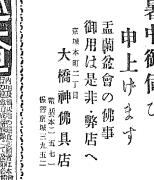
けふ本府から發表され

式」は背景を南北斯等にとりそ

は申分ないものコテムブルの愛国

全組織中學校 五四年後三時半春天。 三代廿分人城朝鮮

者中御伺





みでおりまった

年金 特別立替

に不幸があつた時には共党用にも一つ年代養したいと申出でトクさん 最近では自分の世別の如くつかへ 肉親も及ば四世語をし

至中

写真

は

許

バイによつて國外に通報され

(戦料を支援)つてやつたが、トクさ | 東中である | 現て駅前をはたいてトクさんの器 | 来たので東大門塾で主要

この階級の削身大敵級院時代のも。建築が現住その酸工を合いである。名、バルコニー等一つとして完備 現在の意味電大雨層質点の腐毛は「年五川末に完成し、第二大能通の「治病者、洛罕處理部・模範部・整治

**学島文化施設の誇り** 

第二期工事着手

のそのまゝで、質解大規範として「かくして野び来年までには金部の」せざるになく、殊に戦勝蛇の知言「んは間もなく人様にあまりお世話のとのまゝで、質解大規範として「かくして野び来年までには金部の」せざるになく、殊に戦勝蛇の知言「んは間もなく人様にあまりお世話」 行玩玩玩

一級重にすることに決定近く空中で求めてゐる生島島脈綱の取締を

院へ出しても恥しくない。 ギン病 外科になつてゐるが、部屋は底に | 防波撃の新散、軟式野球塩の新散 一萬八千圓で野郷塩の鋪裝攻替へ 京城府で近く工事入札決る

の一様は今一現代料学の力を悉く勝用してをり一あるが野球場の収度は月下他用期 台の経路上版文場で上版版幹可式 満鮮對抗の 朝鮮豫選會 八月十六日

朝鮮と語い歌呼は来る八月十六日 (日) 午後一時から京城運動場に

百米、八百米、千五百米、五千米)於て鄉行、稲川は百米、二百米、四

香で他は近く上事人札に附する密。 「にあるので今秋十月略から置王の」高標準、中歌呼、明館で、嗣東披 | 殿重處分することになり、

遺骨を抱いて歸る相澤元中佐夫人

九日夜カー・明細路二丁日人里みの一る少年を観路客気は部長が起郷、 現信しまはる

た一囲机をそのま、極端ひ湾走す。校東に(\*\*)=優名=で京城府内に中でお一階限とみせお客が。田し一瓶へて調べると、京城壁造町八〇 一語四とみせお客が平出し一振へて調べると、京城壁志町八〇一 インチャぱくちで

とり出々の人 こみで 丸一階製には数十名の不良が互ひ に轍絡を 脚これら不良の取締りを一層最重 みせかけお客が、五圓、十圓の中 したので、同署では外勤署員を費 無罪して逃走してゐるとの供述を 札をださらものならそのまし 中であつたが原教授館を通過し八一中であつたが原教授館を通過し八二年提出博士観を申請 町四大学甲男氏(デ)は建て坂大に

んはお人好 「半んべいさ

ノムブル主演 会部省より間型限士の単位を提

時四十分班ガソリン機関中と木材 森林作業堪に於て去る五日午後と 平北東與署百點駐在所管內大原於 突三名死傷森林鐵道で衝

ルデインゲル破死所でも所急して 一思られたもので、アメリカのロッカゲ軽は世界でも建戦高級のみに 温度の顕像が壁の生態に適してる。る。学んべいさんはお人好しは圷 クフェーラー研究所、獨乙のヌタ シベリア系統に関してあるので辿日本では赴戦高脈のみがアムール ものである、特にシヤジワベニヒに見られぬ配等特職の螺立室する

製造にたった十四國 佐々氏のお話……朝鮮には内地に

型として三個屋のず、共中でも特に趣報益賦で産する器(辛蘇、アスターコムラサキ藝、五十鐘、それに食事)るない類は純白卅五六穂(あるが、Aタテハ美科――ガヒマコムラサ鉄道にたつた十四個)佐々取のお話……朝鮮には内地に(「日本アルプスにも産す)アム

山蘇は約五十融ありその中で代表

・抱かれよる。

世界中で珍しい蝶

原

0

魅

外には居る蝶

**赴戦高原はかりで舞ふ美しさ** 

珍奇のもの約五十種

は高山極戦の豊富な難と、写道、ちの京城恋楽館は好許を擦してゐる。繋である、繋するに赴戦高艇「向きの家庭裏間映画として八日か 川英三の殿作になり、定許のある

単であるがこれら蝶の生態分布は ▲セセリ欒科ミヤマユキマダラセ おシジメ蝶、ホーザンコマシジ 螺、コンジミ蝶、ガニマナスア

赴戦高原の東端から下界の新興方面の雲海

来る地質量級に別かれるキャンプつくるめて一週別祭しい生活の出

## 製十名の不良

なつて背頭へ行く監督にさらだ 城へたどりつき仁川から船入光に でさいと泣きついた、大監御に行 同心をもつては物船で後山へ上

受けたようと認要した、解語る 挽、その果がどこをどう間違つ 程院重審理の結果無罪の観決を 連中度いて「そんな馬鹿な事が 大事性を疑題に臨んに感覚を交 整高く『諸君・剛部定はこの 契氏が尤もらしい頭付きで 正午の休み時間にど ぐろを錯いて二・二

身用大 五月ラ月三月 シーカありまべ 八付ければ 梅帝國常

性 場 公用内部以上吸る年 各の婦人交筆を維くする身工施費 各の婦人交筆を維くする身工施費 日本の婦人交筆を推くする身工施費 

沙跳。窑贝

人足をしながら下隅へ渡りで 特別城告告さん。ま)で収金

で翻まれてからまる郷、やつと見つた、それからは徳忠旅行、聡明

音い設定型が取る日 本府人事談の

家元?剛部定事性に早盛りしたたか語題が例の『定イツム』の

て眺め寄れば あるか、神里なる司法艦がそん

だから諸君等は若いと云ふんだ たもんだよ、阿那定を呼び出し よいか、麹物所の方ではくだけ さらに落ついて ヨそんな考へ方 はしたので約廿分間息も出来ず これでも云ひはるか」と輕く飛 し渡す)の物決があつたのだよ

計画がある天気

はね飛ばす

道で球遊び

最差率 山道内科

会味を御試し願ます。 お知らせに 現代の真の という はいまりた 現代の真の 般帝都第一流の精達軒より

電話本局(2) 世計八地店食館 ばあざぐらん所 地町 入口(地ビル)

お茶は本面五清元園

電本二三二三三 前

だつたと推測するのが正しいかも「父の死んだ親囚を見てから周一郎

底は、距離の見當が附かない なやらにと、父親の態策で、周一 此の吊橋は、坑夫達の往後に便利 かに、吸ひ込まれるやうな妩媚に

間一郎は、此の橋を渡るのは始め の手に掘ってゐるローブの冷たさ なつてゐるのだつた。 こだつたが不思議と、何度も渡り もはつきり感じられた。 けたやうな俳優を起して、雨方

始めて此の橋から墜落したのは朝 即人の抗夫で顕著化がバラく

即が洋行する前の年に架けられた もので、鎌山から街へ出る近直に

一歩考までに二三採り上げてみ

一戦も下火となり、現在のとれほど一時拱界を風靡した をつけ古風な向飛巾の

平手形 四段 マ鈴 胤は六八銀迄の隔面

をいふ程なれば強ち咎め立てす優劣を左右されると云ふ常道が へ歩と飛光きの歩を突き出す。 エス歩のところは直ちっ ボネガとしては光の得を軽揮す

但正式に解消致しました

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

韓無頭上演映圖

その二人共無難な死に方をしたの

るに従って、亡き父への思察の餠。山を人手に進したとか挑跋的に行四一郎は、背脳が大昭の街を離れ、は?権子が考へてゐるやらに、鉄 緑で驅めてゐた。 かも知れない、だが、文銀の窓様、一郎は、父の落ちたといる居然へがこみ上げて來るのを、鄭外な練一體のた僕であらうか?それもある。つて行く事務所の人達と共に、関 は?雁子が考へてゐるやうに、籤 のだつた。果して自殺だとすれば、その死因 に、そんな 知れない。

> で盛くやらに倒い難で云つた。 で、ローブにつかまつて、じつと をやつてゐた老人が、吊器の眞中 |関はれて旅天の出面服装の配入|の、

歌り駆すの想像してゐる頭り自殺 るたのではないだららか―― つとで、三尺足らずの的だつた。 | 身形をしてゐる男だつた。相常跳 | ლ藍都は年寄りの女後家で七千画 | 出たやらなものだつた。父は、父 ない正體の知れないものが終みで たもので、人間一人が歩くのがや を架いて、一般境夫よりもひどい | 結に吹れば、滞谷は、一造態密の何か、目に見えないもので駆かれ | の中には跳は、もつと | 人対い | 行つてみたのだつた。 が、ブルノー小到みに幾へ、 部汚 | 資業の出版所に相談をしてみる他 今朝、俳拾ひをすませて郷山へ臨 馴れない心にけ、人が歩くのを見 懸つて消て行つた。一生間臓の飼 歩るく度にブラーへ左右に揺れて 共の上、目の下に占がつてゐる谷 に、そんな疑びが概がつて行つた の領接の中には、一つの紙のやう ても、そつとするやらなものだっ ひどいアル中で字を書く時も手許 き略に上る男で、變り満だつた。 一殺しと人も我も決めてゐた老人だ へて来た。 一郎一郎の胸にも脛 路の頭点に違ひないと目引き補引一策を踏すること」、高利貸岩合が つてゐる給料は、そつくり消代に から一度も影響をしたことがなくしない。一声皆つての急動は、大鮮銀 その老人は中田と云つて、若い間一手に渡つた現在ではどうする雨も つたので、支柱を失つた中田の冠 **北夫達の間でも中田さんは真正真** 

度駒の中で思ひ出してみた。 間一郎は、その時の領標をもう一 知つてるるんだな!

やうに張つてるた悪しみの騒響に「が撃撃同時につくか闘べて、大峰だが、その演繹はたつた今の初の「旅行案内を出して、関一郎は空山 旅行案内を出して、間一郎は汽心法が出て来るかも知れぬが……。

介底を見能めてゐる間一郎の耳許 | つた。 資館がどの程度に落付くも つて飲けた處もなし、何處か失歌」ら整理したものかと考へてゐた。 の、歌も舒もなく取り果てた樹子 のか見當はつかないが、頭山が人 から考へても、交金額の部外に影 いことも関一郎には重大なことだ

(同七時) 今日の天津紀込 佐伯 常庭 同七時一分(東)朝の総義 佐久 開泉山先生の本領(五) 中 同公時三〇分 (東) 阿証護歴 公 一 第 一 放 送 (金曜日)

ことだつた。後者の方では、日本 手に入れた鑁山を合理的に取取す 行から脚道を受けてゐる金の善後

十日の番組

|| 同九時一五分 須象通過 || 同九時一〇分 須象通過 || 同九時(館)家庭メモ

都合自分が脱通した手形の五千個

の賦利に五百圓をつけて辿り受け

れたやうな口動だつた。

ある現在、三 萬圓 は下ら の跨だ 午後零時五分 琵琶 井伊大老

が出て釆るかも知れぬが……。 五日)頻田草船 阿部 零一言うすれば交何んとかいゝ方 同零時三五分(大)竇民歌謡 短激と俳一七、行番哀歌(三高程歌) i Ę

(三十八) 鹽谷 榮 同六時二五分(東) 基礎英語講照 村岡 花子 同六時二〇分(東)コドモの新聞の子 管山コドモ陽會重話闘邸

同八時 二曲と三曲合奏 一、二 原物 海野 三朝 海野 三朝 聲三絃 太出 與志二、三而合 三絃 太田 原文 福谷 福谷 連

谷族芸所より中紀 内田 **校歌)** 都の西北早稲田の森に(早大 若き血に燃ゆるもの(原大應 都ぞ殖住の監察に(北海道帝 大阪ラヂオオーケ 育見十二ヶ月(第七勝)

同三時一五分 婦人の時間 午後零時五分 古談 李 第二放送

四周九時二〇分 名乗の政 (シュー) 同八時三〇分 (大) 獨唱 本 紅 桃 超頻俊

十一日き、物

同零時三五分 四民歌謠(第六

方へのニュース、レコード音樂方へのニュース、紀泉通報、翌日の番組(地 同九時三〇分(東)時歌、ニエー

同大院三〇分 "导政 加阳晋校生 同七院 深外護班 (二)) 同八時 瓶味器演 (一)

ニユース 天気見込 駿

久間原山先生の本領(六) 午前七時一分(東)朝の修派 佐

歌) 関ロ思ふ空の覧(関西型院校 関一時 家庭機能 夏向きの惣領 機計革船 卵部 第子 になりました、父や母は後を誤解しを聞くだ上げればよいと思ひます一方をお話いたしませ しそのために良吉は賦服不足とな

同六時二五分(宮) 座談宮 立山東京政这道活研究宮

(第一回) 春日享清朝 同八時五〇分(東)浪花節慶寶王

山) 同一〇時 ニュース、頻繁通常、後地方へのニュース、頻繁通影、

验山子拱岛宣席話國语

心不能に勉強に志しました、たま 越しチッドン量になりました、良 たいと思って一切の恥も外間も超 子の良吉だけは立派な人間に育て 吉は父の音第を日々懸謝しつトー

海なので友人二郎と相談の結果内の金を父から出して概ふのは深の 〈 水彩館具を買ふために五十銭

同九時 外務省東亞局 桑島

チンドン屋の子 童話劇 午後六時

(梗概)良吉の父は日露戦野で片

に生山に苦しみました、併し一人からだで思ふやらに晒けないため

足を買出して跛となり、不自由な 暮れては弱ろふ色の歌こそ一時

青き紫みに然えなん吾胸思を載せ

おやつの話

のあるものを選びす

この節はなるべく

一題で彼は夕刊野になりました、俳 て部上げられるは何より結構でご ざゐますが御小さい方々にはその ると云ふだけでなくお母様とお話一供の喜びを想ひ、お子様方は交出 存じます、一時、三時に時を決め おやつは民族に写版をみたしてや一その上作ります間に する楽しい機能ともいたし度いと に贈ふことの出来ない食いものが さつた母に窓消して 死上りますのを築しみ、造つて下 なられたものが安心

頂く、その中

**家庭で手幅に出来るお菓子の作り** 

岸の闘り ――里見 砕 向八時三五分(束)自作朗讃 河中村扇准外

主計

て窓び、それからといふもの父は の清き國ぞとあこがして叱責したが良吉の告白を聞い て駆撃さやかに光れ とになりました 層窓脳を以て仕事に選進するこ

置かに稔れる石狩の

風に思ふ空の調理く自由マスタ

風に思ふ空の翼

校歌と寮歌 午後八時半 内田 榮一 くも背ゆる極の植五年に関り手間の最黄昏

の莚遊きせの番に遭き紅やその春 都ぞ難生の宝装に花の香濃小宴遊 一、都ぞ彌生の 窓月題れる武変館が 数語影く野もせに選 **戻く肚盛の地をこゝに見よ** おこそかに北極星を娘の舞音のさやめく 朗風艇やとして売る

二、都の西北

清潔な、新しい、窓 **工指山大學校歌** あれ見よかしこの常盤の森は、中

だわせだわせだわせだ、わせだわ あまねく天下に邸き希かん、わせ

を更に囲らか上我が自治。 脚西脚 西学院

間にかざす思き甲頭えたつ級。

旗は第七武庫の平野通けし理想で

に、我等が母校の名をは買へん、悪の光、いざ整揃へて至もとどろ わせだわせだわせだわせだ、わせ て人はかはれど、仰ぐは同じき埋 三、若き血に燃

やどしく治安の夢に貼りたる整理嗚呼玉桃に花らけて除酒に月の飲

五、鳴呼玉杯に

ゆる者、慶應後盛贈援歌

等 希望の明星仰ぎて公に、勝利若き血に燃ゆる者、光輝元てる我 に進む我が力常に新らし見よ特貌 五聚の伽見部領高し

筆をとり持ちて一たび起たば何事 華を稱ひ消ぎ心の益良雄が 剣と 芳野の花の

酔った! よわつた! 0 もう!!

| The state of t 

ながら運ぶく吊衛の折かつてるこ 彼つてゐた。その次に此の谷に って死んたのは東京の機械商の出

交換して五三角打ちの作戦があ数が五四歩と受けたら、二三角と、鈴木四段の五六歩は、こへ 一つの誘導戦と見ていいだ

(11)

し始めて来たのも面白い現象ろでは又古風なこの作戦が頭

優劣を左右されると云ふ常道が であるが、一步突き進ん。 で、て見ると勢力の前仲してる。 で、て見ると勢力の前仲してる。 で、で見ると勢力の前仲してる。

のたところまで のたところまで

向飛阜か居飛りか

觀

マニーが間間

消費時間